

H31年度
第 1 回森林整備と財源のあり方検討委員会
配付資料

検討の進め方について

(ねらい)

- 昨年度の提言により、公的関与が必要な森林施業の検討に当たっては、公益的機能を持続的に発揮する森林へ誘導するための合理的な手法について、引き続き技術的・専門的な見地から検討を行うことが必要。
- このため、重視すべき機能や誘導すべき森林の姿について、委員それぞれのお立場から幅広くご意見をいただき、専門部会での検討方向を明確にする。

【意見交換テーマ】

「県民が期待する機能を発揮できる森林の姿」

提言により公的関与が必要とされた森林において、重視すべき機能や目指す森林の姿について意見交換

〔進め方〕

- (資料 1-3)により、公的関与が必要な森林の現状について説明
- (資料 1-4, 5)により、森林の有する機能や機能に応じた森林の姿(例)について説明
- 意見交換

(いただきたいご意見の例)

- ・区分「○」の

里山
奥山

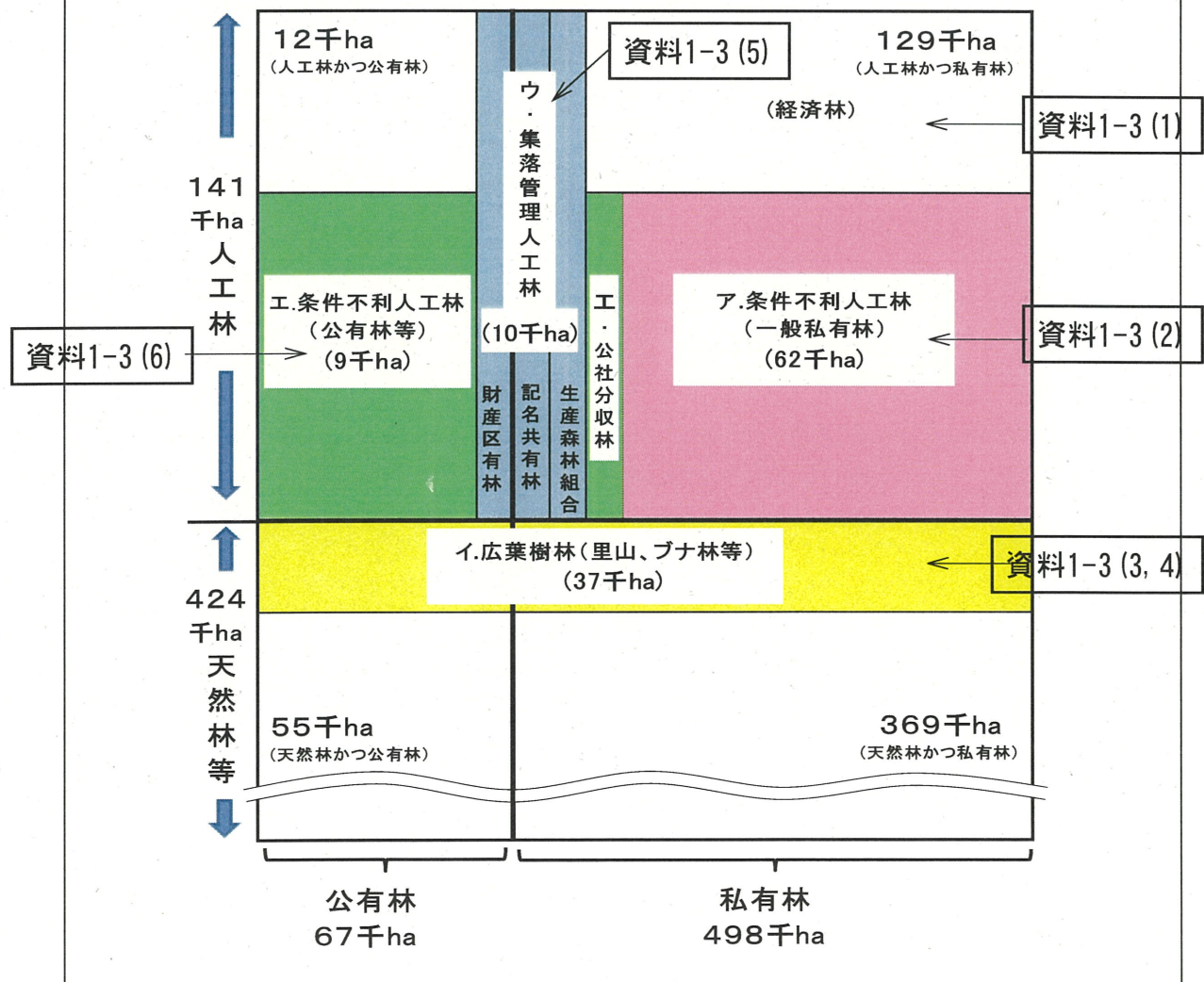
 については、○○の機能を重視し、○○が考えられるか
- ・区分「○」の整備に当たっては、○○に配慮すべきか 等

※今回の意見を踏まえ、必要な森林施業等について専門部会で検討

公的関与の対象となる森林の範囲と判断基準

区 分	定 義	基 準	面積
ア.条件不利人工林 (一般私有林)	林業経営に適さない人工林 (一般私有林)	・傾斜 25度以上 ・林地生産力 5 m ³ /ha・年未満 ・基幹路網からの距離 300m以上	62千ha
イ.広葉樹林 (里山、ブナ林等)	放置された旧薪炭林等	・過密度(収量比数) Ry0.8以上※	37千ha
ウ.集落管理人工林	・生産森林組合 ・記名共有林 ・財産区有林	・人工林の全て	10千ha
エ.条件不利人工林 (公有林等)	林業経営に適さない人工林 (・県・市町村営林(公有林) ・公社分収林(私有林))	・傾斜 25度以上 ・林地生産力 5 m ³ /ha・年未満 ・基幹路網からの距離 300m以上	9千ha
合 計			118千ha

<民有林(565千ha)の状況・内訳>



経済林の現状



手入れが行き届いたスギ人工林(左右とも)

公的関与が必要な森林の現状(1)

◆区分ア「条件不利人工林(一般私有林)」



傾斜が急で条件が不利なスギ林



手入れが行き届かず過密化したスギ林

公的関与が必要な森林の現状(2)

◆区分イ「広葉樹林(里山、ブナ林等)」



放置され過密化した旧薪炭林



ナラ枯被害を受けた旧薪炭林

公的関与が必要な森林の現状(2-2)

◆区分イ「広葉樹林(里山、ブナ林等)」



過密化した旧薪炭ブナ林(左・中)と間伐30年後のブナ林(右)

公的関与が必要な森林の現状(3)

◆区分ウ「集落管理人工林」



放置されたスギ林に竹が侵入した状況



ツルやクズ等が繁茂した森林

公的関与が必要な森林の現状(4)

◆区分E「条件不利人工林(公有林等)」



車道から遠い奥地のスギ不成績林(左右とも)

森林の有する多面的機能について

資料1-4

森林の多面的機能

経済林

防災

山地災害防止・土壌保全

水源涵養

防風・防砂

公益林

保健・レクリエーション・教育

・観光的に魅力ある湖沼等の自然景観等を有する森林
・キャンプ場や森林公園等の施設を伴う森林
・生産・労働体験や教育的利用の場として特に利用されている森林 等

文化景観

・史跡、名勝の所在する森林
・地域の生活・文化・行事等と密接に関連し独自の利用が図られている森林 等

生物多様性

・原生的な森林生態系を維持している森林や貴重な生物種が生息・生育する森林
・野生生物のための回廊（移動経路）として機能している森林
・自然公園、鳥獣保護区、自然環境保全地区及びその周辺の森林 等

その他

期待する機能に応じた森林の姿(1)

資料1-5

◆ 防災



山地災害防止機能が期待される森林



飛砂防備機能が期待される海岸マツ林

期待する機能に応じた森林の姿(2)

◆ 水源涵養



水源涵養機能(洪水調整・渇水緩和)が期待される森林(右はブナ林の状況)

期待する機能に応じた森林の姿(3)

◆ 保健・レクリエーション等



保健機能が期待される森林(森林セラピーとして活用) レクリエーション等機能が期待される森林(森林学習として活用)

期待する機能に応じた森林の姿(4)

◆ 文化景観



文化機能が期待される森林(史跡と一体となった景観を構成)(左右とも)

期待する機能に応じた森林の姿(5)

◆ 生物多様性



環境省提供



生物多様性機能が期待される森林(多様な樹種・生物の生育・生息の場)